受付番号：　2026-13

浅田レディースクリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることに同意されない場合は、当院 WEB サイト「当院における研究活動について」から署名をお願い致します。

研究課題名	ヒト胚盤胞期胚を用いた新規栄養外胚葉生検デバイスの有用性の検討
研究責任者 （研究代表者）	浅田義正
（多機関共同研究の場合） 共同研究機関の責任者	共同研究機関名： 共同研究責任者：
研究の目的	本研究は、着床前遺伝子診断(PGT)を行う際に必要となる、胚の一部の細胞を採取する技術に関するものです。 現在の方法では、細胞を吸引したり、レーザーを使ったりして採取していますが、これらの方法は胚への負担が大きいことが課題となっています。 そこで、吸引やレーザーを使わない新しいデバイスを用いて胚の細胞採取を行い、 ・胚への影響 ・検査がうまく行えるかどうか ・検査を担当する胚培養士による技術の差が出にくいかどうか について調べることを目的としています。
研究期間	承認後 ～ 2030 年 3 月 31 日
研究の方法	本研究では、体外受精治療で凍結保存されている胚のうち、将来の治療には使用しないことに同意された胚盤胞（研究利用胚）を用いて、新しい検査方法の検討を行います。 対象となる胚盤胞に対して、着床前遺伝子診断の為に新しく開発されたデバイスを用いて、胚の一部の細胞を採取する操作を行います。 この操作は、あらかじめ定められた手順に沿って実施します。なお、今回の研究では細胞の採取のみを行い、染色体の数を調べる検査(倍数性の解析)は行いません。 細胞採取のあと、胚の状態(採取した部分の状態や、その後元の形に戻るかどうかなど)を観察し、記録します。また、複数の担当者がこのデバイスを用いて採取を行い、かかった時間や成功した割合などから、担当者による技術の差が出にくいかどうかについても調べます。 ■利用する試料 胚盤胞期胚 ■利用する情報 診療録、診療記録
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究は、海外の企業（Fertilis Pty Ltd.社）より新規開発デバイスの提供を受けて実施します。ただし、研究の計画・実施、データの収集・解析、および報告については、当院が独立して行い、同社から影響を受けることは一切ありません。 なお、本研究の対象は当院において研究利用へのご同意をいただいた研究利用胚に限られており、患者さまの治療方針や診療内容に影響を与えることはありません。
お問い合わせ先	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-6-17　名古屋ビルディング 5 階 医療法人浅田レディースクリニック　法人部 担当者：衣川智樹（キヌガワトモキ） TEL： 052-551-2251　Email： t_kinugawa@ivf-asada.jp
備考	